

市町村がん検診(胃・大腸・肺・乳・子宮頸)精度管理状況評価・ プロセス指標について

【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。健康増進法第 19 条の2に基づく健康増進事業として対策型がん検診を行う県内全市町村分を対象に国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県生活習慣病検診管理協議会・各がん検診分科会において集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和5年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和4年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標(プロセス指標)

【調査等の概要及び評価】

1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

《調査内容》

対策型がん検診で整備すべき体制については、令和 6 年 3 月の厚生労働省報告書「がん検診事業のあり方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト(市区町村用)」として整理されています。

本調査は、令和 5 年度における当該チェックリストの遵守状況および令和 3 年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリストです。チェックリスト項目数は、【胃・大腸 53 項目(うち評価対象 52 項目)】、【肺 55項目(うち評価対象は 51 項目)】、【乳 53 項目(うち評価対象は 52 項目)】、【子宮頸 56 項目(うち評価対象は 55 項目)】となります。

評価基準は以下の 5 段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A:チェックリストをすべて満たしている

B:チェックリストを一部満たしていない

C:チェックリストを相当程度満たしていない

D:チェックリストを大きく逸脱している

E:チェックリストをきわめて大きく逸脱している

－:検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」:平成 20 年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

① 胃 実施項目数(評価対象 52 項目中、○の数より全国市町村と相対評価)

【集団検診】 5 段階評価 A:52、B:51-49、C:48-46、D:45-41、E:40 以下(全国市町村四分位比較)

【個別検診】 5 段階評価 A:52、B:51-46、C:45-42、D:41-32、E:33 以下(全国市町村四分位比較)

集団	A	B	C	D	E	その他	計
R5	2	4	4	3	25	3	41
R4	0	2	7	5	24	3	41

個別	A	B	C	D	E	その他	計
R5	0	3	1	6	14	17	41
R4	0	2	4	3	13	19	41

② 大腸 実施項目数(評価対象 52 項目中、○の数より全国市町村と相対評価)

【集団検診】 5 段階評価 A:52、B:51-49、C:48-45、D:44-40、E:40以下(全国市町村四分位比較)

【個別検診】 5 段階評価 A:52、B:51-46、C:45-43、D:42-35、E:35以下(全国市町村四分位比較)

集団	A	B	C	D	E	その他	計
R5	2	4	5	3	27	0	41
R4	0	2	9	4	24	2	41

個別	A	B	C	D	E	その他	計
R5	0	4	1	5	18	13	41
R4	0	3	2	3	17	16	41

③ 肺 実施項目数(評価対象 51 項目中、○の数より全国市町村と相対評価)

【集団検診】 5 段階評価 A:51、B:50-48、C:47-45、D:44-40、E:39以下(全国市町村四分位比較)

【個別検診】 5 段階評価 A:51、B:50-45、C:44-41、D:40-33、E:32以下(全国市町村四分位比較)

集団	A	B	C	D	E	その他	計
R5	2	4	4	4	27	0	41
R4	1	6	6	2	24	2	41

個別	A	B	C	D	E	その他	計
R5	0	3	1	6	14	17	41
R4	0	3	3	6	10	19	41

④ 乳がん 実施項目数(評価対象 52項目中、○の数より全国市町村と相対評価)

【集団検診】 5 段階評価 A:52、B:51-49、C:48-46、D:45-41、E:40 以下(全国市町村四分位比較)

【個別検診】 5 段階評価 A:52、B:51-47、C:46-43、D:42-36、E:35 以下(全国市町村四分位比較)

集団	A	B	C	D	E	その他	計
R5	2	4	3	2	21	9	41
R4	1	5	5	4	19	7	41

個別	A	B	C	D	E	その他	計
R5	1	6	2	4	19	9	41
R4	1	6	4	2	18	10	41

⑤ 子宮頸 実施項目数(評価対象 55 項目数、○の数より全国市町村と相対評価)

【集団検診】 5段階評価 A:55、B:54-52、C:51-49、D:48-43、E:42 以下(全国市町村四分位比較)

【個別検診】 5段階評価 A:55、B:54-50、C:49-46、D:45-38、E:37 以下(全国市町村四分位比較)

集団	A	B	C	D	E	その他	計
R5	2	4	3	2	25	5	41
R4	1	4	6	2	22	6	41

個別	A	B	C	D	E	その他	計
R5	1	6	2	4	18	10	41
R4	1	5	4	3	18	10	41

《評価結果》 1-1 集団検診

令和5年度市町村評価結果一覧（集団検診）

集 団	胃がん（X線）				大腸がん				肺がん				乳がん				子宮頸がん				通知区分	
	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	令和5年	令和4年
	実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象				
那覇市	46	46	C	D	48	48	C	C	49	45	C	C	48	48	C	C	49	49	C	C	C以下	C以下
宜野湾市	26	26	E	E	26	26	E	E	28	25	E	E	0	0	-	-	0	0	-	-	C以下	C以下
石垣市	0	0	-	-	32	32	E	-	32	32	E	-	32	32	E	D	36	36	E	D	C以下	C以下
浦添市	40	39	E	E	40	39	E	E	42	38	E	E	40	39	E	E	41	40	E	E	C以下	C以下
名護市	49	49	B	C	49	49	B	C	52	48	B	B	49	49	B	B	52	52	B	B	ABのみ	C以下
糸満市	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	C以下	C以下
沖縄市	48	48	C	C	48	48	C	C	51	47	C	B	0	0	-	-	0	0	-	-	C以下	C以下
豊見城市	32	32	E	E	32	32	E	E	31	31	E	E	32	32	E	E	35	35	E	E	C以下	C以下
うるま市	24	24	E	E	24	24	E	E	24	24	E	E	24	24	E	E	25	25	E	E	C以下	C以下
宮古島市	32	32	E	E	31	31	E	(D)	32	32	E	(D)	32	32	E	E	32	32	E	E	C以下	C以下
南城市	34	34	E	E	34	34	E	E	38	34	E	E	34	34	E	E	34	34	E	E	C以下	C以下
国頭村	51	51	B	C	51	51	B	C	54	50	B	C	51	51	B	C	54	54	B	C	ABのみ	C以下
大宜味村	31	30	E	C	31	30	E	C	32	30	E	B	31	30	E	B	30	29	E	B	C以下	C以下
東村	37	36	E	E	35	34	E	E	36	35	E	E	36	36	E	E	36	36	E	E	C以下	C以下
今帰仁村	52	52	A	B	52	52	A	B	55	51	A	A	52	52	A	A	55	55	A	A	ABのみ	ABのみ
本部町	48	48	C	C	48	48	C	C	51	47	C	C	48	48	C	C	51	51	C	C	C以下	C以下
恩納村	51	50	B	C	51	50	B	C	54	49	B	C	51	50	B	C	54	53	B	C	ABのみ	C以下
宜野座村	30	30	E	E	30	30	E	E	30	30	E	E	31	31	E	E	30	30	E	E	C以下	C以下
金武町	45	44	D	D	45	45	C	D	48	44	D	D	0	0	-	-	0	0	-	-	C以下	C以下
伊江村	39	39	E	E	39	39	E	E	40	38	E	E	39	39	E	E	41	41	E	E	C以下	C以下
読谷村	50	50	B	C	50	50	B	C	49	49	B	B	50	50	B	B	53	53	B	B	ABのみ	C以下
嘉手納町	39	39	E	E	39	39	E	E	42	38	E	E	38	38	E	D	37	37	E	E	C以下	C以下
北谷町	40	40	E	E	40	40	D	E	44	40	D	E	0	0	-	-	0	0	-	-	C以下	C以下
北中城村	41	41	D	D	41	41	D	D	44	40	D	C	41	41	D	D	44	44	D	C	C以下	C以下
中城村	32	32	E	E	32	32	E	E	35	31	E	E	32	32	E	E	40	40	E	E	C以下	C以下
西原町	41	41	D	D	41	41	D	D	40	40	D	D	41	41	D	D	43	43	D	D	C以下	C以下
与那原町	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	0	0	-	-	0	0	-	-	C以下	C以下
南風原町	30	30	E	E	30	30	E	E	34	30	E	E	30	30	E	E	30	30	E	E	C以下	C以下
渡嘉敷村	18	18	E	E	18	18	E	E	20	18	E	E	18	18	E	E	18	18	E	E	C以下	C以下
座間味村	17	17	E	E	17	17	E	E	17	17	E	E	17	17	E	E	16	16	E	E	C以下	C以下
粟国村	9	9	E	E	8	8	E	E	8	8	E	E	8	8	E	E	8	8	E	E	C以下	C以下
渡名喜村	18	18	E	E	18	18	E	E	17	17	E	E	18	18	E	E	18	18	E	E	C以下	C以下
南大東村	0	0	-	-	29	28	E	E	32	27	E	E	0	0	-	-	28	27	E	E	C以下	C以下
北大東村	0	0	-	-	11	11	E	E	11	11	E	E	0	0	-	-	13	13	E	E	C以下	C以下
伊平屋村	52	52	A	D	52	52	A	D	55	51	A	C	52	52	A	C	55	55	A	C	ABのみ	C以下
伊是名村	38	38	E	B	38	38	E	B	37	37	E	B	39	39	E	B	41	41	E	B	C以下	ABのみ
久米島町	48	48	C	E	48	48	C	E	51	47	C	E	48	48	C	E	51	51	C	E	C以下	C以下
八重瀬町	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	C以下	C以下
多良間村	16	16	E	E	17	17	E	E	16	16	E	E	10	10	(E)	E	10	10	E	E	C以下	C以下
竹富町	14	14	E	E	13	13	E	C	12	12	E	B	0	0	-	B	13	13	E	-	C以下	C以下
与那国町	27	27	E	E	25	25	E	E	25	25	E	E	27	27	E	E	27	27	E	E	C以下	C以下

「-」は検診未実施。（当年度検診未実施でも2年前検診のプロセス集計実施により実施項目数が一部計上される場合がある）

胃内視鏡検診については、全国市町村の実施項目の遵守状況が把握できないため評価していない。

（カッコ）は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

≪評価結果≫ 1-2 個別検診

令和5年度 市町村評価結果一覧（個別検診）

個 別	胃がん（X線）				大腸がん				肺がん				乳がん				子宮頸がん				通知区分	
	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	実施項目		評価 (R5)	参考 (R4)	令和5年	令和4年
	実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象			実施 計	評価 対象				
那覇市	46	46	B	C	48	48	B	B	49	45	B	B	48	48	B	B	49	49	C	B	C以下	C以下
宜野湾市	24	24	E	E	24	24	E	E	26	23	E	E	24	24	E	E	26	26	E	E	C以下	C以下
石垣市	0	0	-	-	8	8	(D)	(D)	9	9	(E)	(E)	29	29	E	(B)	8	8	(E)	(E)	C以下	C以下
浦添市	40	39	D	E	40	39	D	E	42	38	D	E	40	39	D	E	41	40	D	E	C以下	C以下
名護市	0	0	-	-	49	49	B	B	0	0	-	-	49	49	B	B	52	52	B	B	ABのみ	ABのみ
糸満市	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	E	C以下	C以下
沖縄市	20	20	E	C	20	20	E	C	20	20	E	C	20	20	E	C	20	20	E	D	C以下	C以下
豊見城市	32	32	E	E	32	32	E	E	31	31	E	E	32	32	E	E	35	35	E	E	C以下	C以下
うるま市	21	21	E	E	21	21	E	E	21	21	E	E	20	20	E	E	21	21	E	E	C以下	C以下
宮古島市	0	0	-	-	32	32	E	E	32	32	E	D	32	32	E	E	32	32	E	E	C以下	C以下
南城市	34	34	D	D	34	34	E	E	38	34	D	D	34	34	E	E	34	34	E	E	C以下	C以下
国頭村	23	23	(B)	(C)	25	25	(E)	E	25	25	(B)	(C)	51	51	B	B	54	54	B	B	C以下	C以下
大宜味村	30	29	E	(B)	30	29	E	(E)	32	30	E	(B)	32	31	E	B	30	29	E	B	C以下	C以下
東村	24	24	E	D	23	23	E	E	29	27	E	D	26	26	E	E	26	26	E	E	C以下	C以下
今帰仁村	25	25	(B)	(A)	25	25	(E)	E	25	25	(A)	(A)	47	47	B	A	50	50	B	A	C以下	C以下
本部町	48	48	B	B	48	48	B	B	51	47	B	B	48	48	B	B	51	51	B	B	ABのみ	C以下
恩納村	51	50	B	B	51	50	B	C	54	49	B	B	51	50	B	B	53	52	B	C	ABのみ	C以下
宜野座村	21	21	E	-	23	23	E	-	24	24	E	-	31	31	E	E	31	31	E	E	C以下	C以下
金武町	32	32	E	E	32	32	E	E	36	32	E	E	45	45	C	E	50	50	B	E	C以下	C以下
伊江村	39	39	D	E	39	39	D	E	38	38	D	E	39	39	D	E	41	41	D	E	C以下	C以下
読谷村	45	45	C	C	45	45	C	D	44	44	C	C	45	45	C	C	47	47	C	C	C以下	C以下
嘉手納町	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	22	22	E	E	22	22	E	E	C以下	C以下
北谷町	36	36	D	E	38	38	D	E	38	38	D	D	39	38	D	E	39	38	D	E	C以下	C以下
北中城村	34	34	D	D	34	34	E	D	36	33	D	D	34	34	E	D	37	37	E	D	C以下	C以下
中城村	19	19	E	E	19	19	E	E	19	19	E	E	19	19	E	E	19	19	E	E	C以下	C以下
西原町	41	41	D	C	41	41	D	D	40	40	D	C	41	41	D	C	43	43	D	C	C以下	C以下
与那原町	7	7	E	E	7	7	E	E	7	7	E	D	7	7	E	E	7	7	E	E	C以下	C以下
南風原町	29	29	E	E	29	29	E	E	33	29	E	E	29	29	E	E	26	26	E	E	C以下	C以下
渡嘉敷村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
座間味村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
粟国村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
渡名喜村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
南大東村	23	22	E	E	0	0	-	-	0	0	-	-	29	28	E	E	28	27	E	E	C以下	C以下
北大東村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
伊平屋村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	53	52	A	C	56	55	A	C	ABのみ	C以下
伊是名村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
久米島町	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
八重瀬町	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	11	11	E	E	C以下	C以下
多良間村	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし
竹富町	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	3	3	E	D	4	4	E	D	C以下	C以下
与那国町	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	実施なし	実施なし

「-」は検診未実施。（当年度検診未実施でも2年前検診のプロセス集計実施により実施項目数が一部計上される場合がある）

胃内視鏡検診については、全国市町村の実施項目の遵守状況が把握できないため評価していない。

（カッコ）は一部に調査時点での実施予定項目や2年前検診未実施による集計不能項目がある等、評価困難である市町村。

2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標(プロセス指標)

《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標(プロセス指標)について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(令和4年度)の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)に基づき、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「がん検診事業のあり方について」に基づき算出しています。

《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「がん検診事業のあり方について」の基準値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。

特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。

一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、基準値は90%以上とされています。

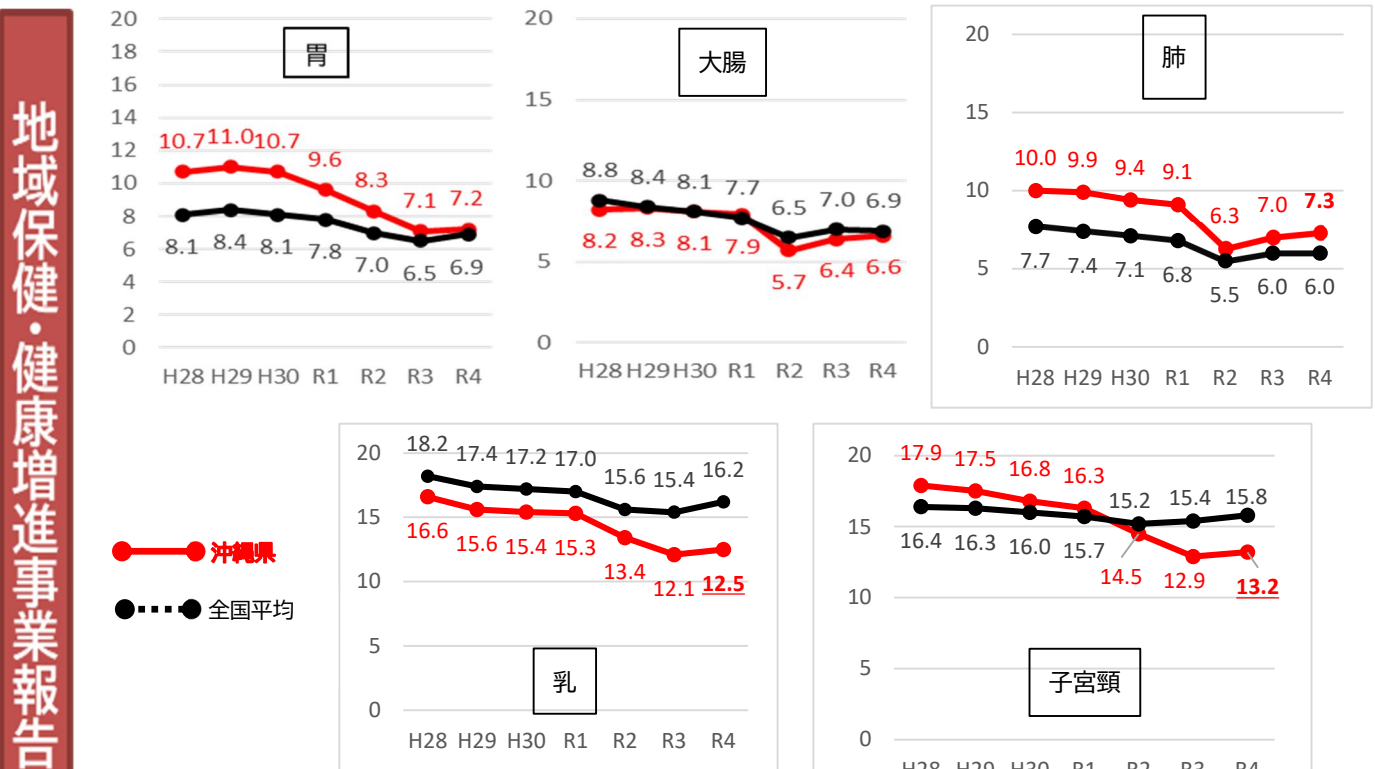
《結果:がん検診の精度管理指標数値(令和4年度分)》

※受診率は令和4年度住民検診実施分を、その他のプロセス指標は令和3年度住民検診受診者における令和4年度までの精密検査結果を示します。

※プロセス指標棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない(ゼロ)」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施、あるいは要精検者がいない等により計数が算出できなかったことを示します。(要精検者がいない場合も含む)

(1)受診率(令和4年度受診者) 受診者数/対象者数×100

令和4年度地域保健・健康増進事業報告(市町村実施、対策型がん検診受診率)による受診率は、感染症の影響により、R2から受診率は落ち込んでいましたが、R4は5がん全て前年度より増加しております。



厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」による受診率(対策型検診のみ。市町村報告による実数積み上げ)

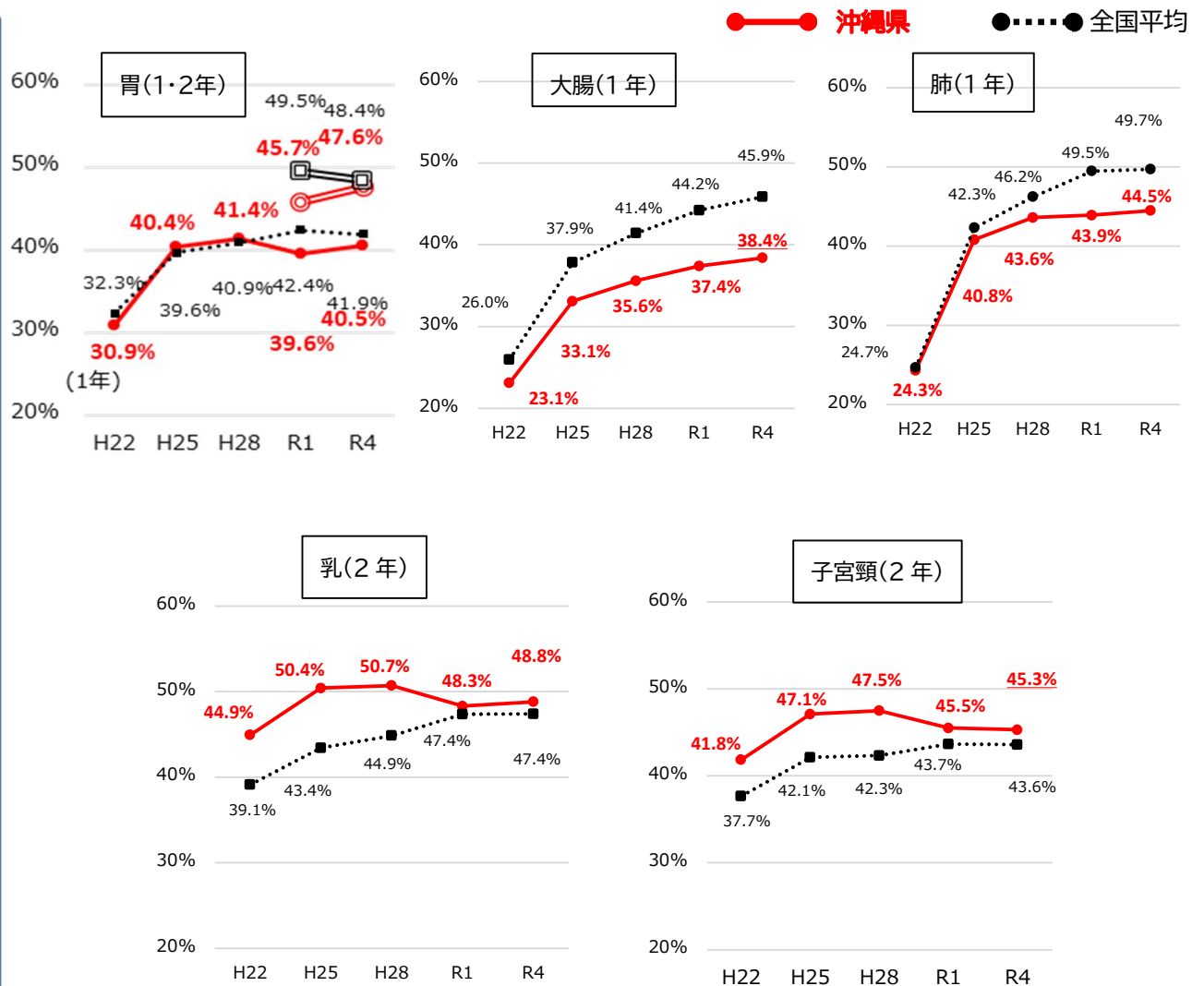
算定年齢:40(胃 50/子宮頸 20)~69歳 調査頻度:毎年

【参考】

そのほか、受診率としては、厚生労働省が実施する「国民生活基礎調査」による指標（職域検診・人間ドック等を含む全ての検診の受診率推計値）もあります。ただし市町村別の数値はありません。

国・県（第4次）がん対策推進計画（国 R5-R10・県 R6-11）では、指針 5 がん全て受診率目標値 60% に設定されています。沖縄県は全国と比較して、胃、大腸、肺の受診率が低い状況となっています。

国民生活基礎調査



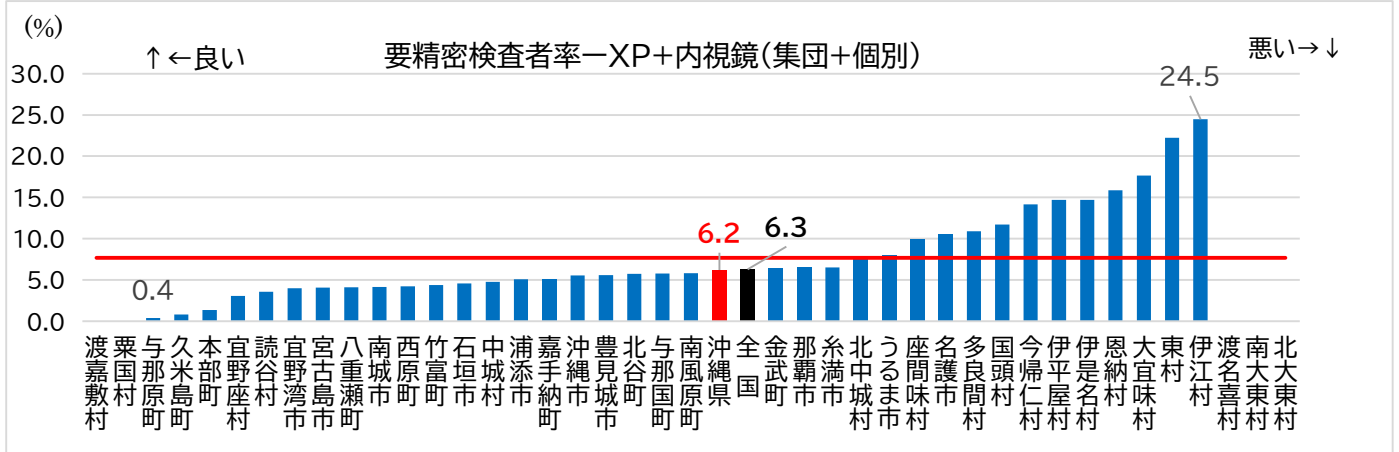
厚生労働省「国民生活基礎調査」による受診率（アンケートに対する自己申告による回答）

（対策型検診・職域検診・人間ドック・かかりつけ医での受診等） 算定年齢：40（子宮頸 20）～69 歳 調査頻度：3 年に 1 回

3 市町村がん検診プロセス指標 胃がん

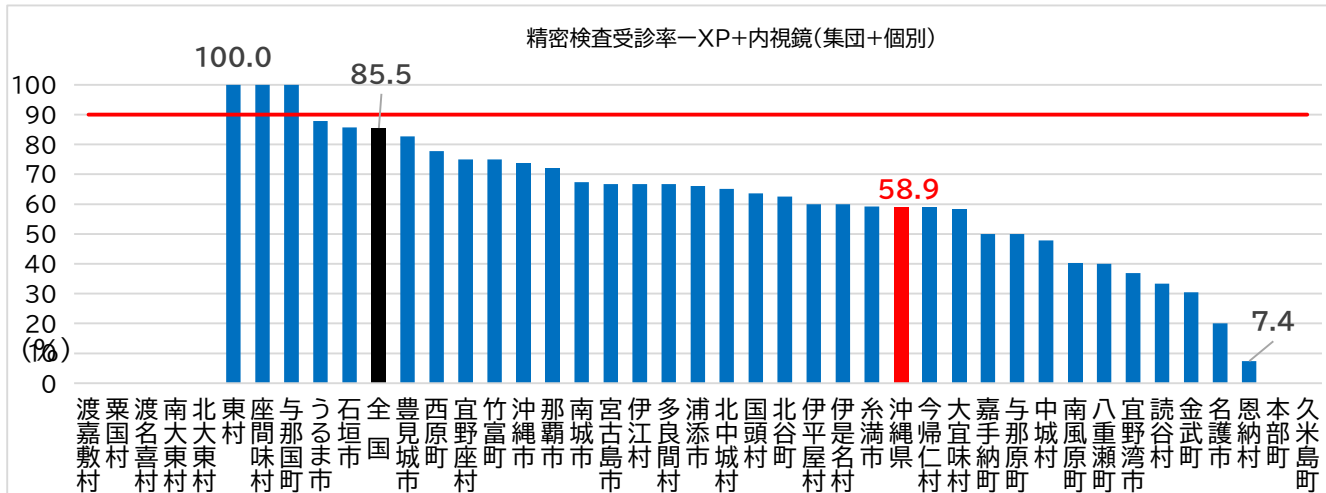
(1) 要精検率(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。基準値は 7.7%以下とされています。当県全体では 6.2%であり、基準値の範囲内となっています。



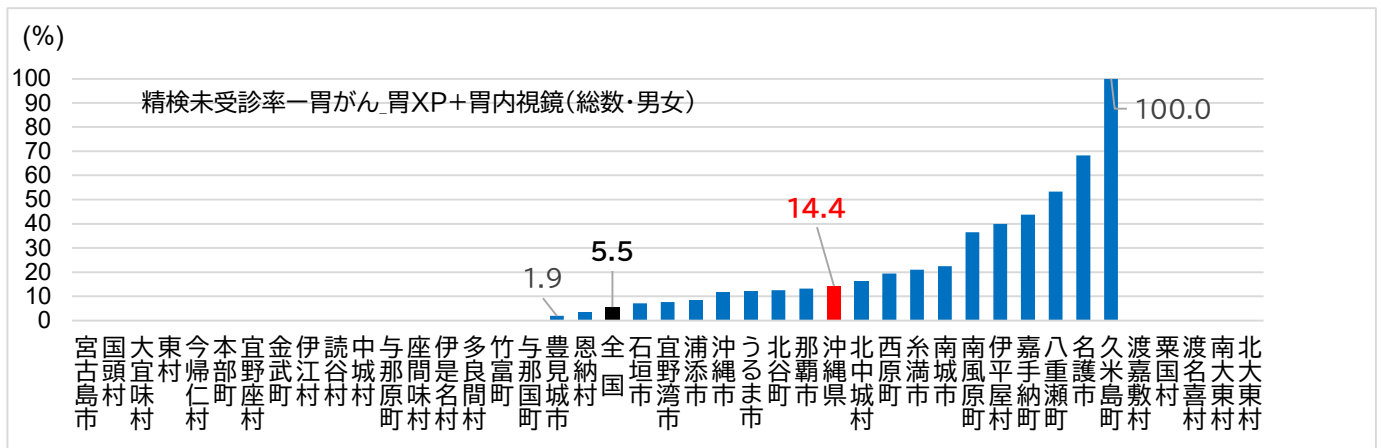
(2) 精検受診率(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、翌年度までに精密検査を受けたことが把握できた方の割合で、100%に近いことが望ましく、基準値は 90%以上です。



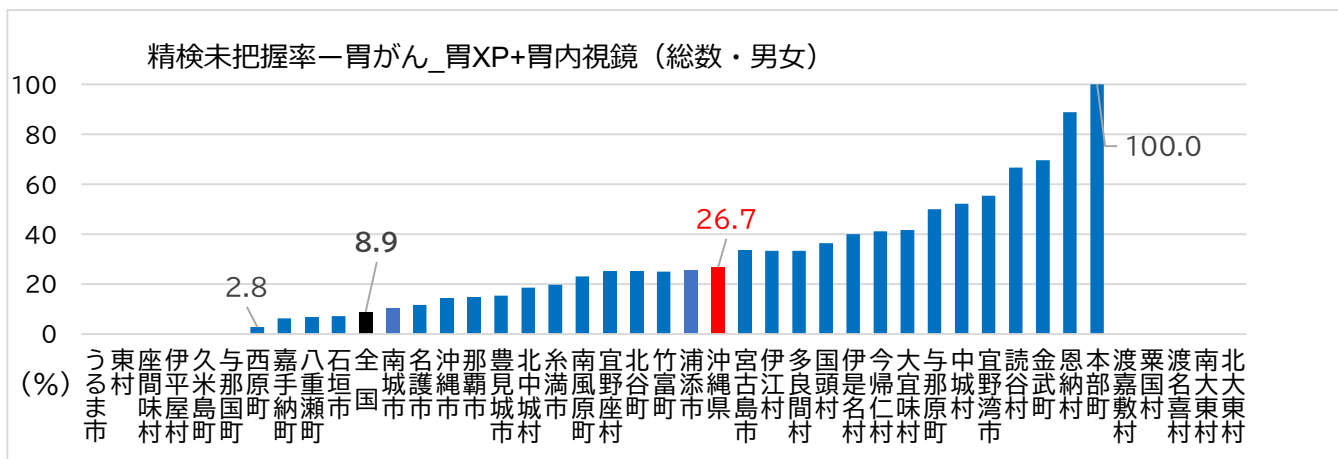
(3) 精検未受診率(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) 未受診者数／要精検者数×100

未受診率が当県全体では、14.4%と全国平均を大幅に下回っております。



(4) 精検未把握率(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) 未把握者数／要精検者数×100

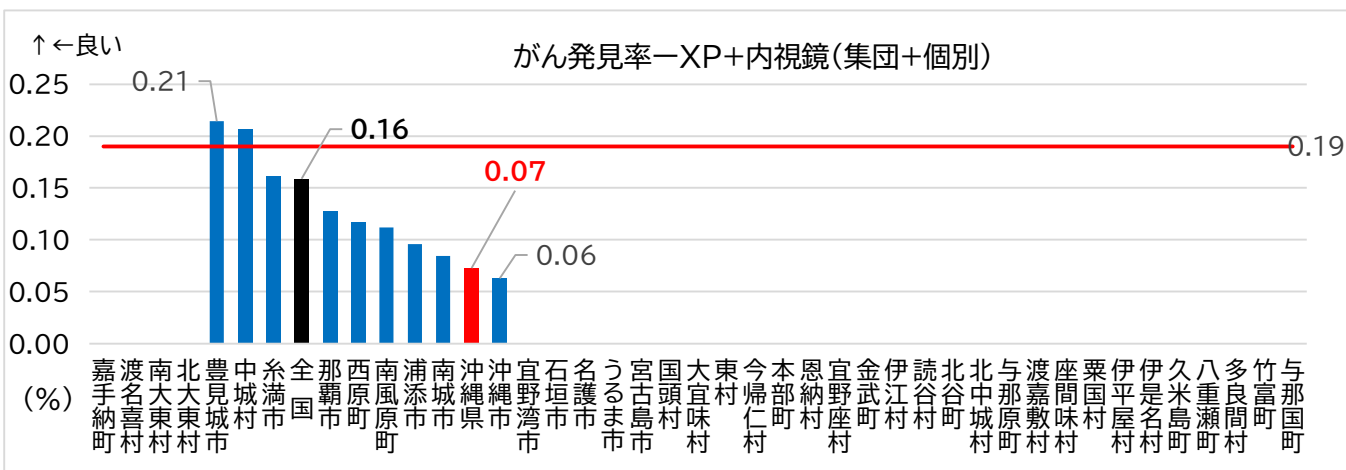
未把握率が当県全体で 26.7%と全国平均を大幅に下回り全国最下位となり、課題となっております。



(5) がん発見率(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) がんであった者／受診者数×100

がん発見率は、受診された者のうち、がんが発見された者の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。基準値は 0.19%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなる場合があります。

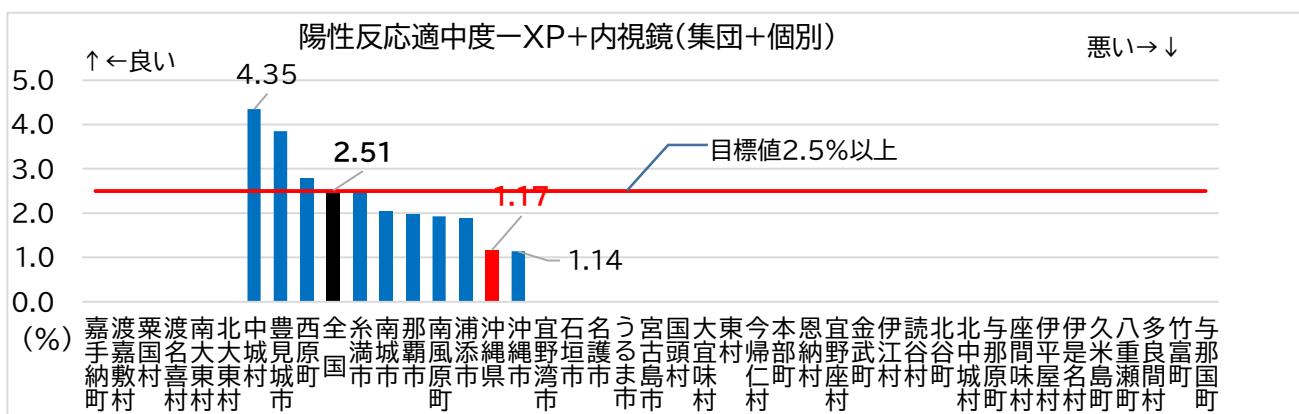
当県全体では 0.07%となっており、基準値に達していません。



(6) 陽性反応適中度(令和3年度住民検診受診者 50～74 歳) がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた者のうち、がんがあった者の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。基準値は 2.5%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなる場合があります。

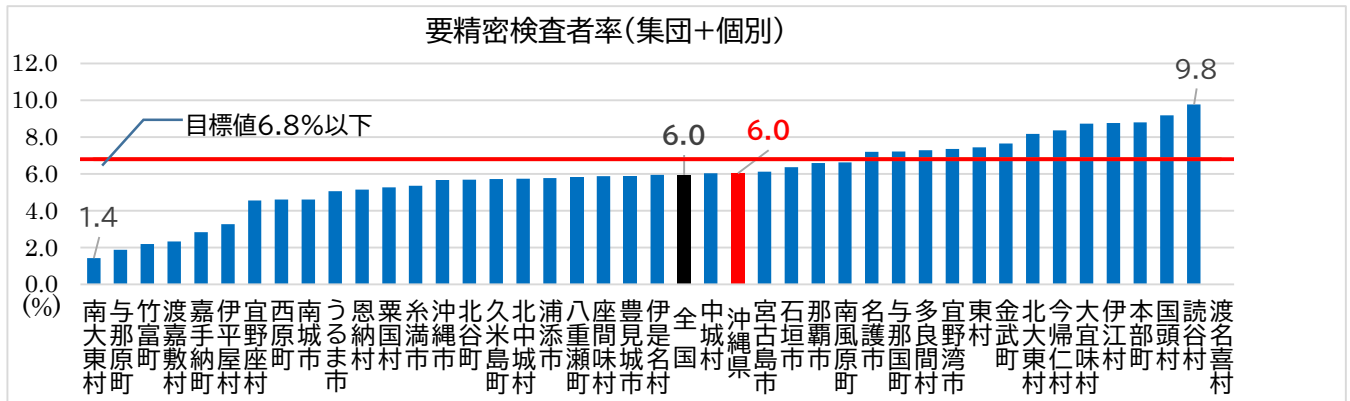
当県全体では1.17%となっており、基準値に達していません。



4 市町村がん検診プロセス指標 大腸がん

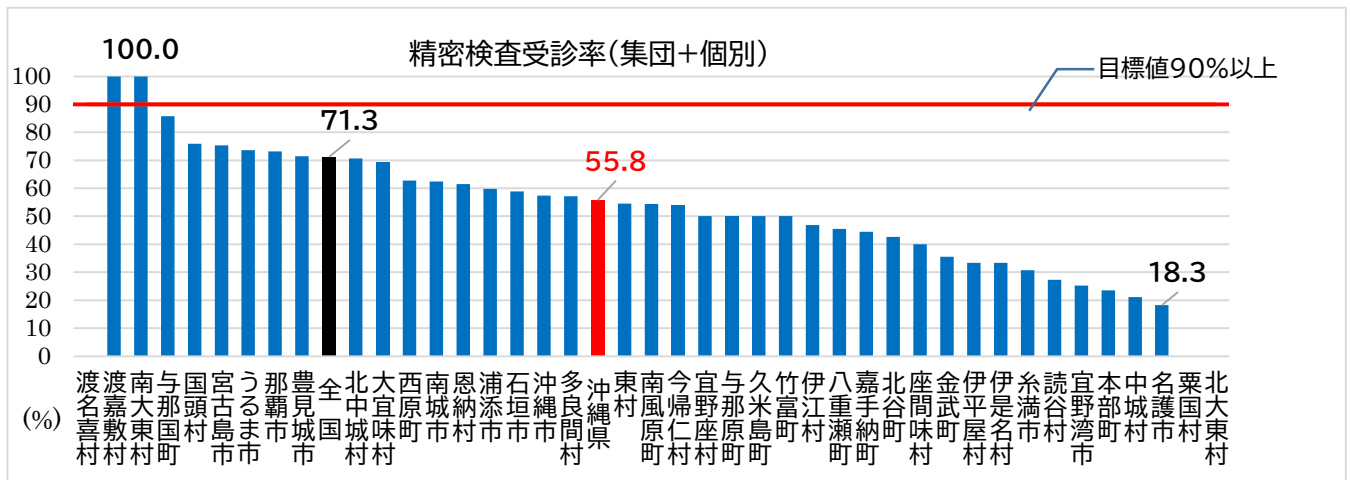
(1) 要精検率(令和3年度一次検診受診者 40～74 歳) 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。基準値は6.8%以下とされています。当県全体では6.0%であり、基準値の範囲内となっています。



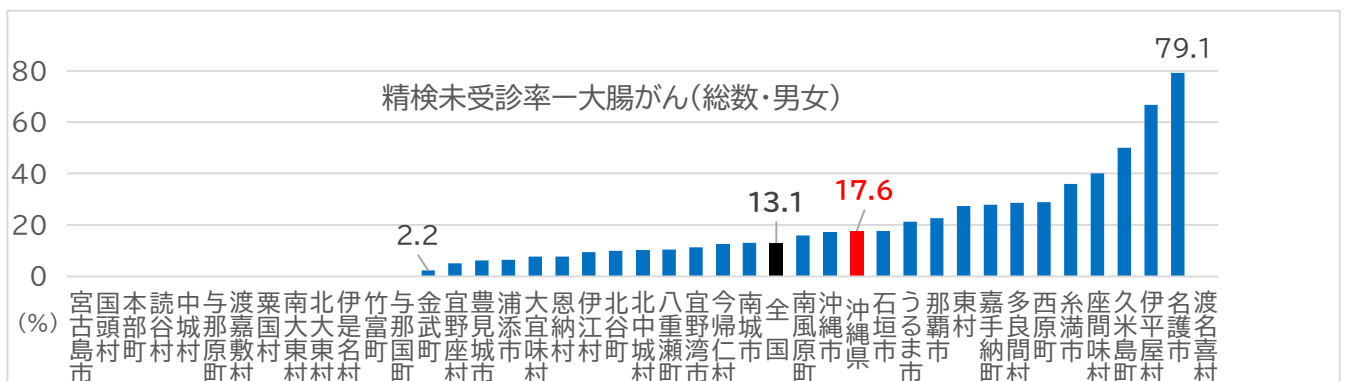
(2) 精検受診率(令和3年度一次検診受診者 40～74 歳) 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、翌年度までに精密検査を受けたことが把握できた方の割合で、100%に近いことが望ましく、基準値は 90%以上です。沖縄県全体では 55.8%と、基準値に達していません。(結果の未把握が課題となっています)



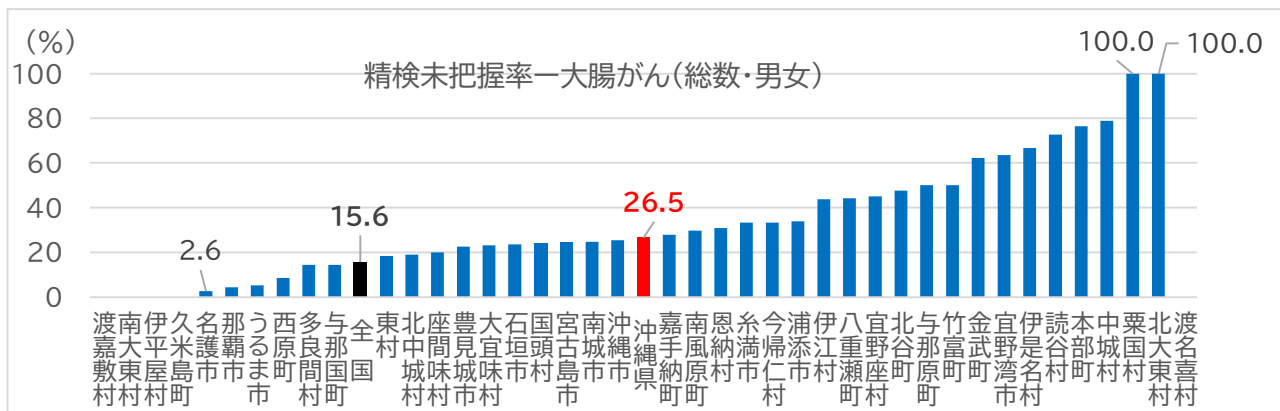
(3) 精検未受診率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 未受診者数／要精検者数×100

当県全体の未受診率は、17.6%と全国平均を下回っております。



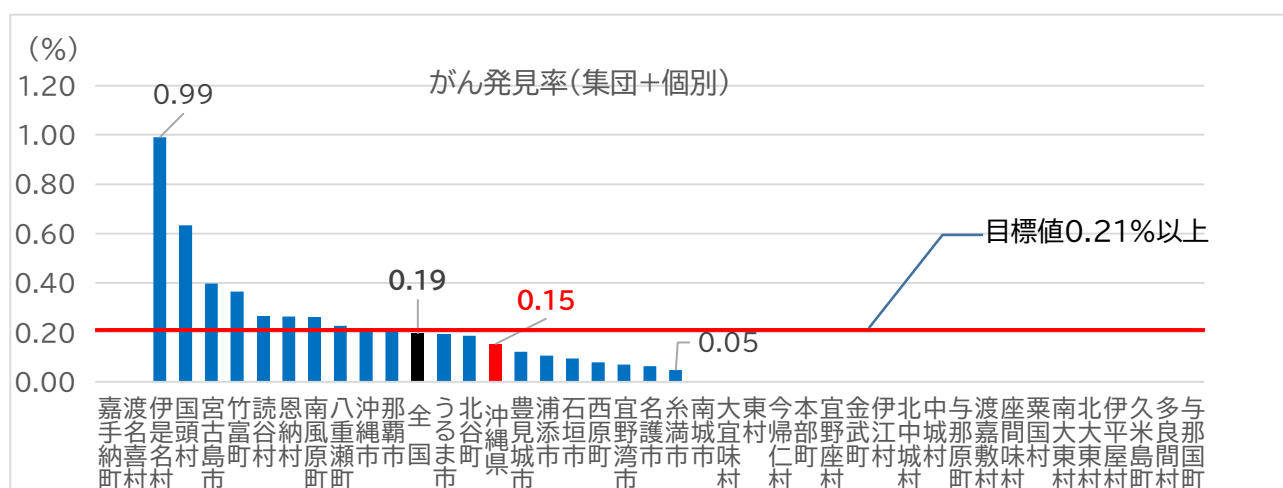
(4) 精検未把握率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 未把握者数／要精検者数×100

未把握率が当県全体で 26.5%と全国平均を大幅に下回り全国46位となり、課題となっております。



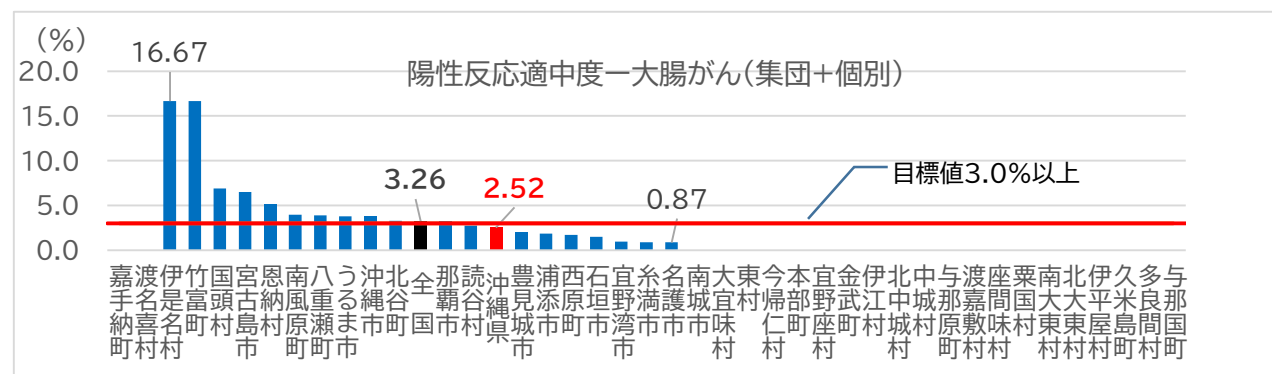
(5) がん発見率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) がんであった者／受診者数×100

がん発見率は、受診された方のうち、がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。基準値は0.21%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が高い地区では低くなる場合があります。沖縄県全体では 0.15%となっており、基準値に達していません。



(6) 陽性反応適中度(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) がんであった者／要精検者数×100

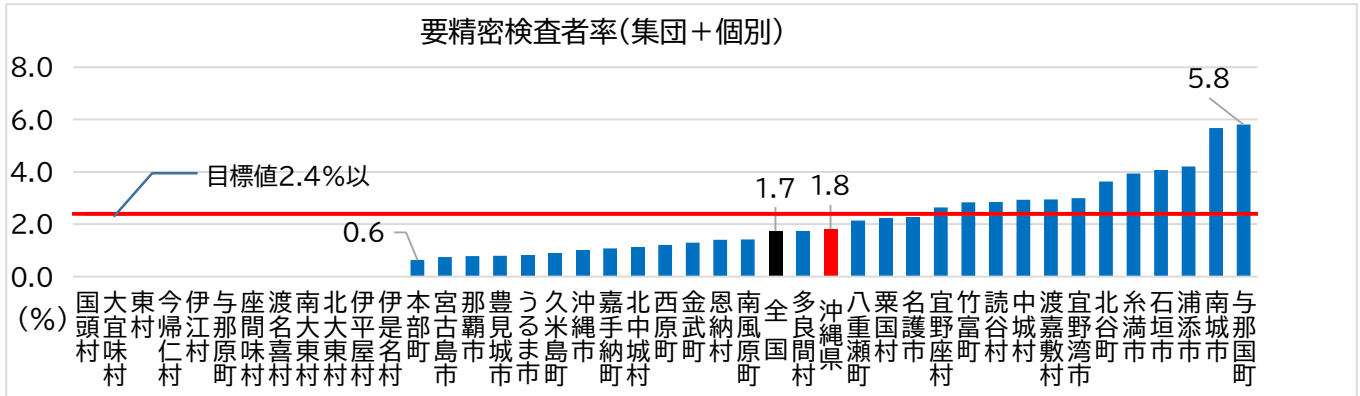
陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、がんがあった方の割合で、一定の範囲内にあることが望ましいです。基準値は 3.0%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。当県全体では2.52%となっており、基準値に達していません。



5 市町村がん検診プロセス指標 肺がん

(1) 要精検率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 要精検者数／受診者数×100

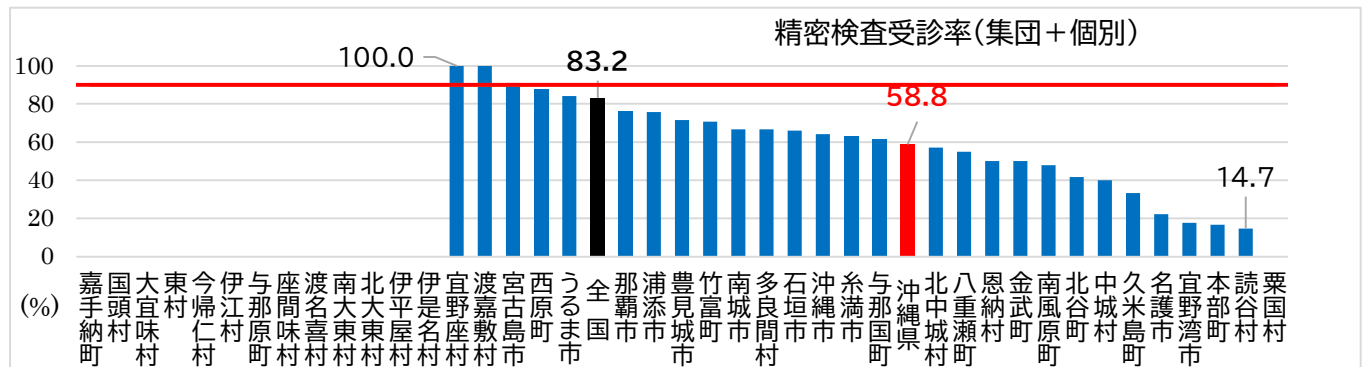
要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。基準値は 2.4%以下とされていますが、肺の病気が多い地区では高くなることもあります。当県全体では 1.8%であり、基準値の範囲内となっています。



(2) 精検受診率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 精検受診者数／要精検者数×100

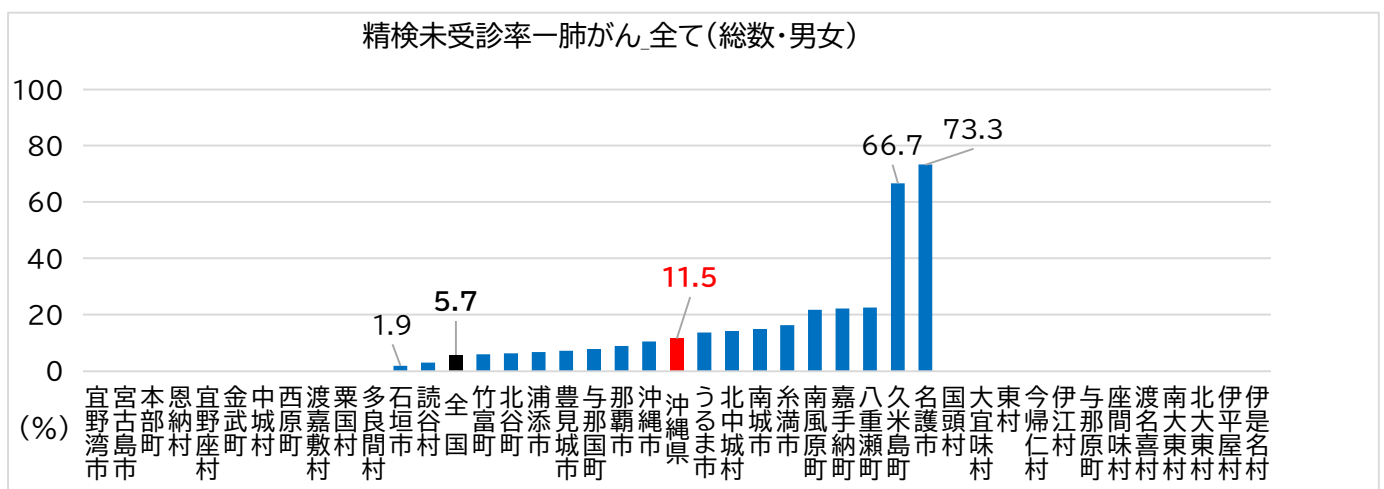
精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、翌年度までに精密検査を受けたことが把握できた方の割合で、100%に近いことが望ましく、基準値は 90%以上です。

沖縄県全体では58.8%と、基準値を満たしていません。(結果の未把握が課題となっています)



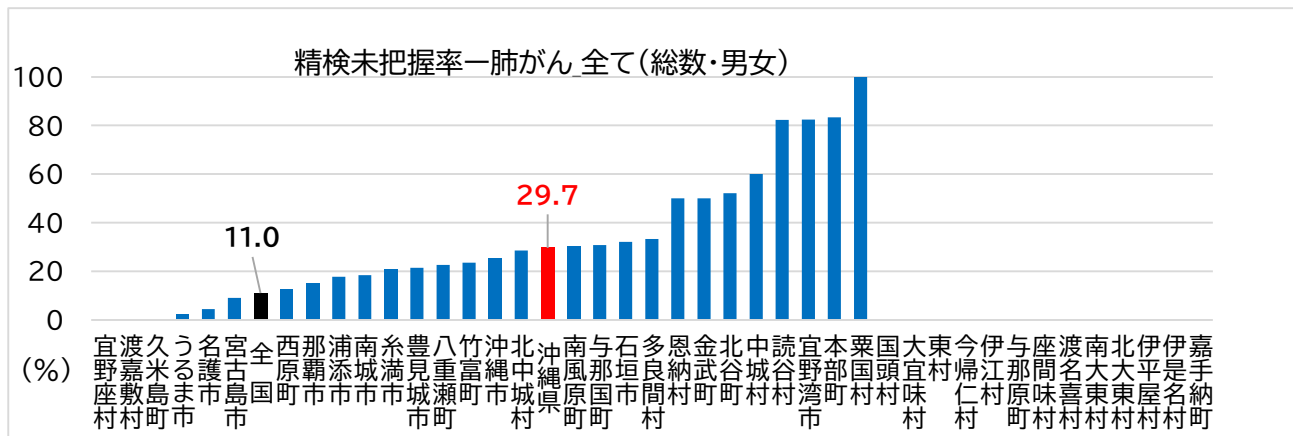
(3) 精検未受診率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 未受診者数／要精検者数×100

当県全体の未受診率は、11.5%と全国平均を下回っております。



(4) 精検未把握率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 未把握者数／要精検者数×100

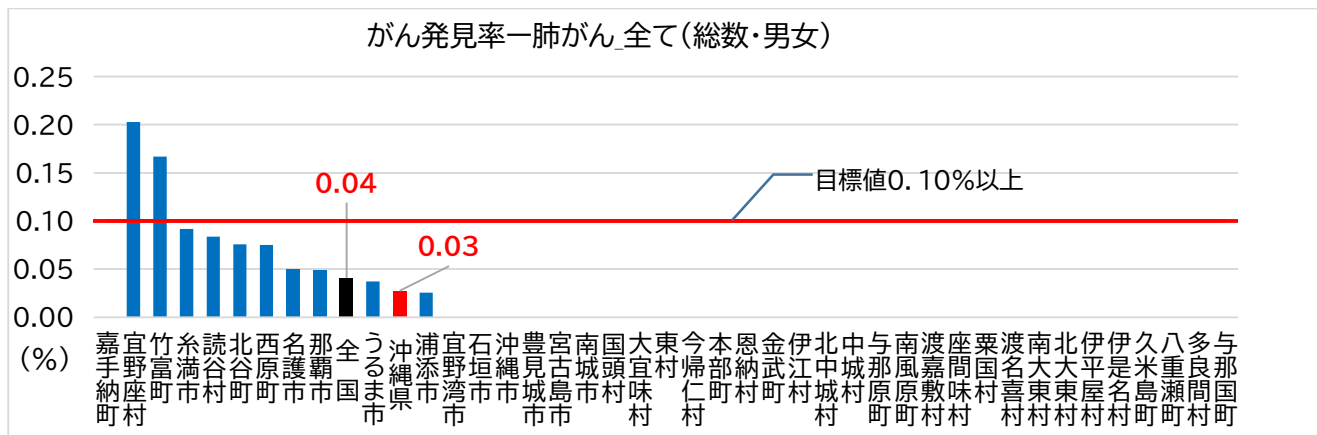
未把握率が当県全体で 29.7%と全国平均を大幅に下回り全国最下位となり、課題となっております。



(5) がん発見率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) がんであった者／受診者数×100

肺がん発見率は、受診者のうち肺がんが発見された者の割合で高いことが望ましい指標です。基準値は 0.10%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

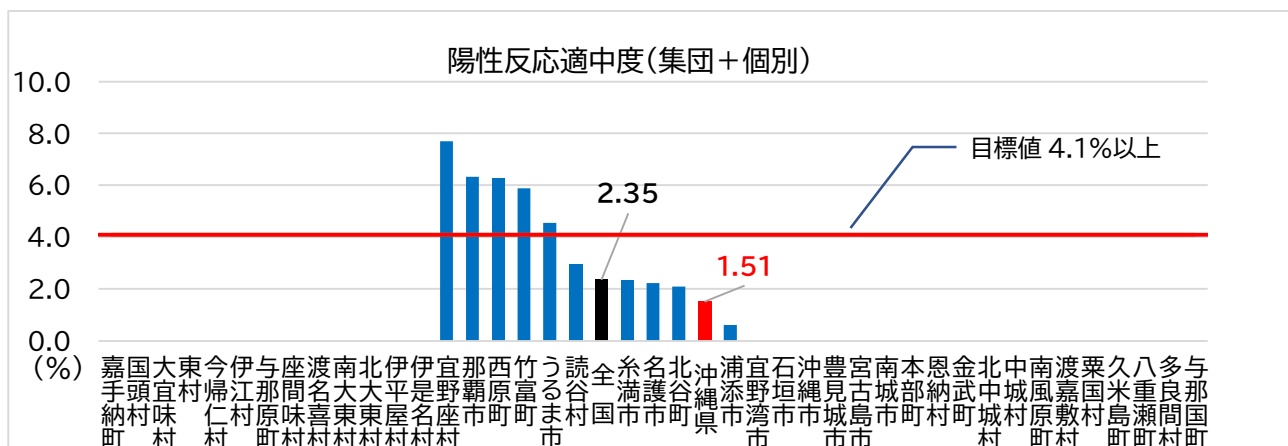
沖縄県全体では 0.03%と、許容値を満たしていません。



(6) 陽性反応適中度(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に肺がんがあった者の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 4.1%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

沖縄県全体では 1.51%と、許容値を満たしていません。

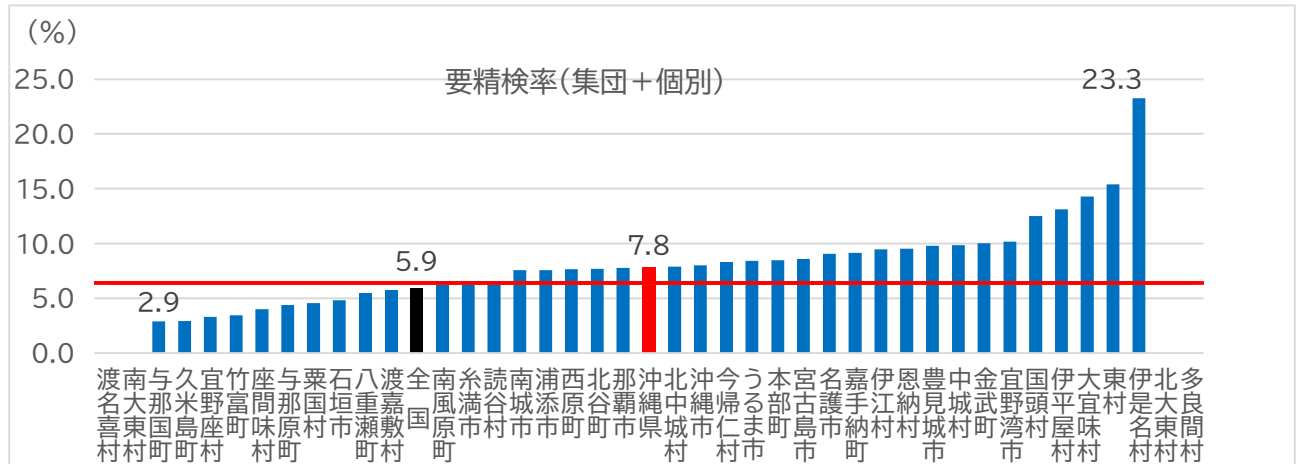


6 市町村がん検診プロセス指標 乳がん

(1) 要精検率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。基準値は 6.5%以下とされています。

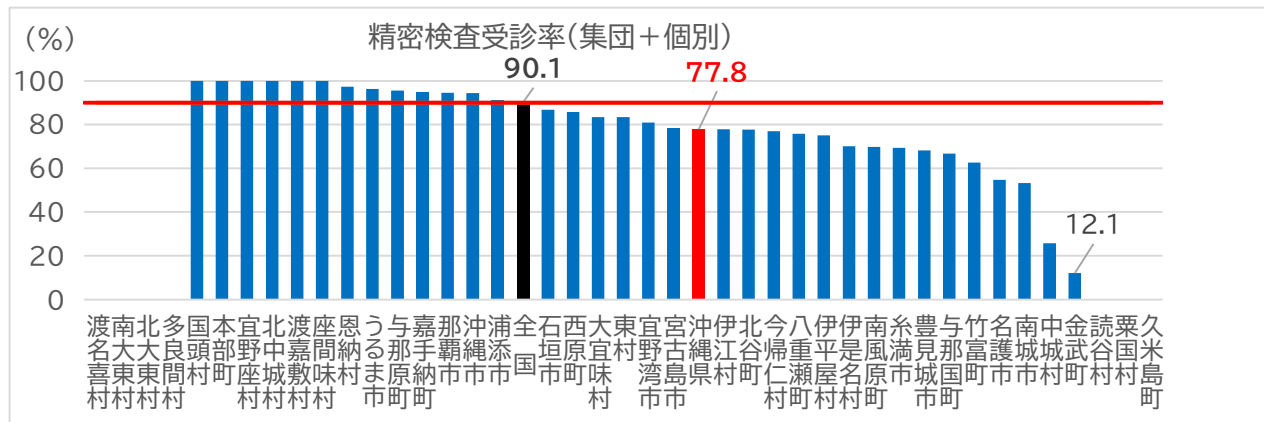
沖縄県全体では 7.8%と基準値を満たしていません。



(2) 精検受診率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 精検受診者数／要精検者数×100

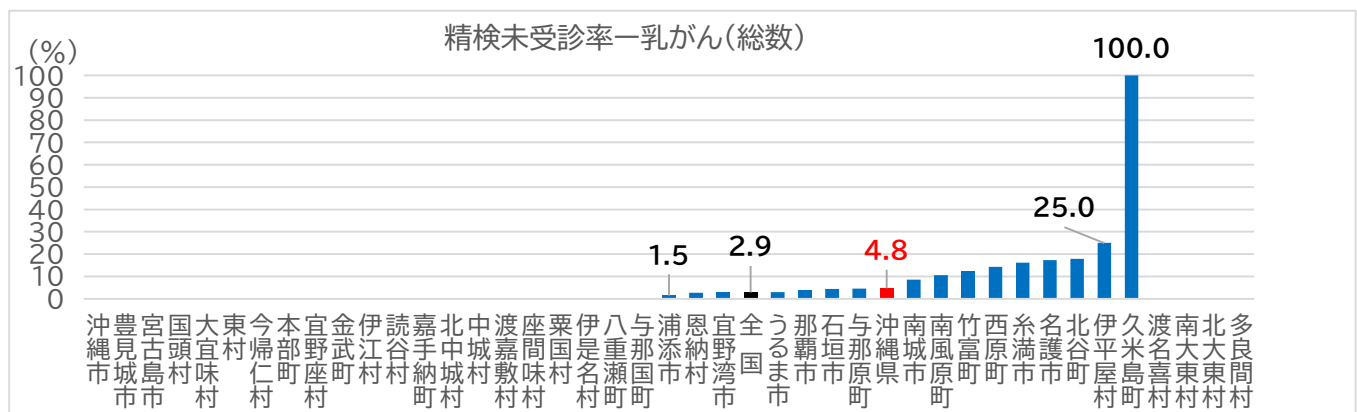
精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、基準値は 90%以上です。

沖縄県全体では 77.8%となっており、基準値に達していません。



(3) 精検未受診率(令和3年度住民検診受診者 40～74 歳) 未受診者数／要精検者数×100

当県全体の未受診率は、4.8%と全国平均を下回っております。



未把握率が当県全体で17.4%と全国平均を大幅に下回り全国46位となり、課題となっております。

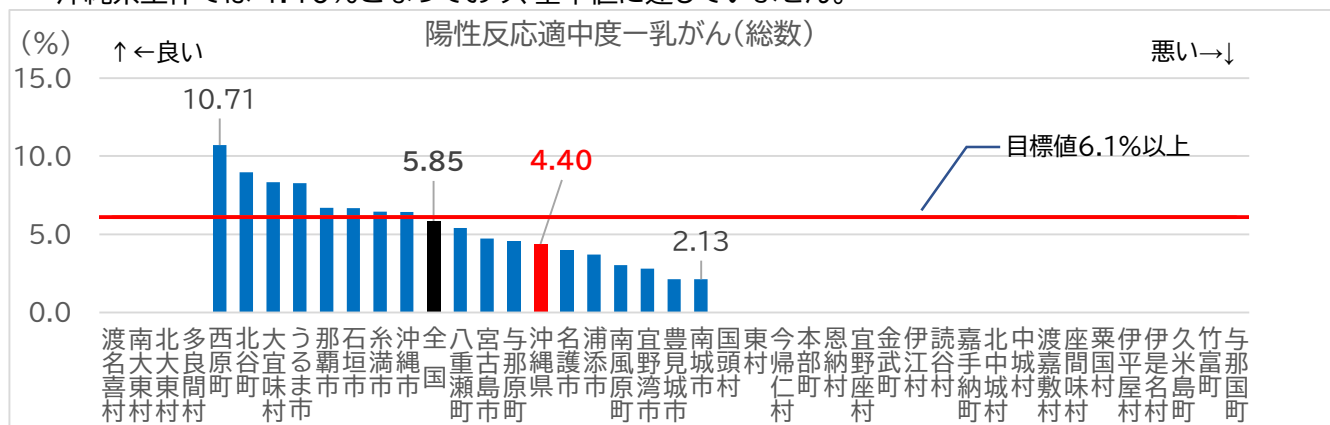


がん発見率は、受診された方のうちがんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。基準値は 0.40%以上とされていますが、乳がん罹患の低い年齢層が多い地区では低くなる場合があります。

(6) 陽性反応適中度(令和2年度住民検診受診者 40～74 歳) がんであった者/要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるは低値の場合は更に検討が必要となります。基準値は 6.1%以上とされていますが、高濃度乳房や乳がん罹患が低い年齢層が多い地区では低くなることもあります。

沖縄県全体では 4.40%となっており、基準値に達していません。

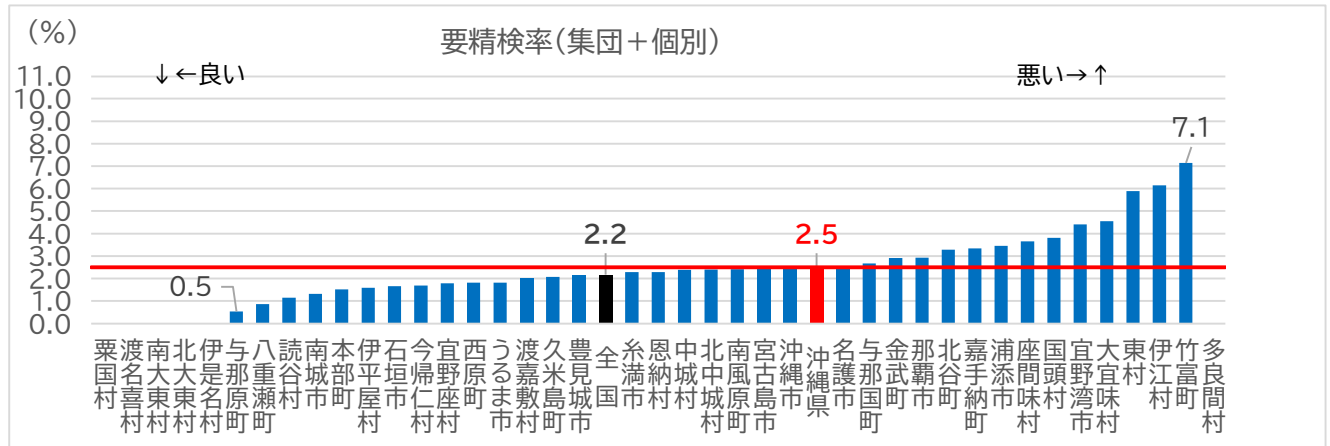


7 市町村がん検診プロセス指標 子宮頸がん

(1) 要精検率(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。基準値は 2.5%以下とされていますが、子宮頸がんの病気が多い地区では高くなることもあります。

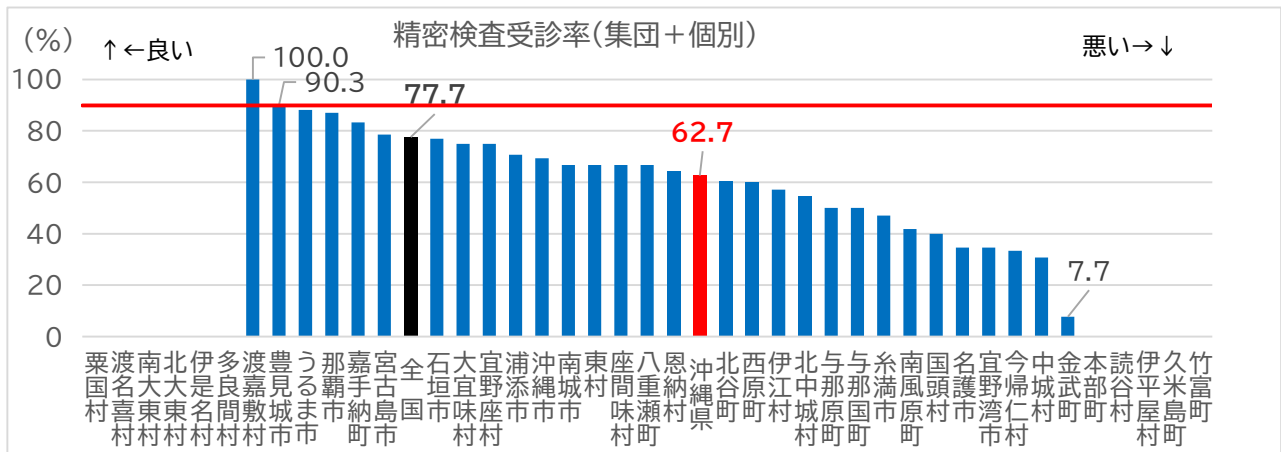
沖縄県全体では 2.5%となっており、基準値を満たしています。



(2) 精検受診率(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) 精検受診者数／要精検者数×100

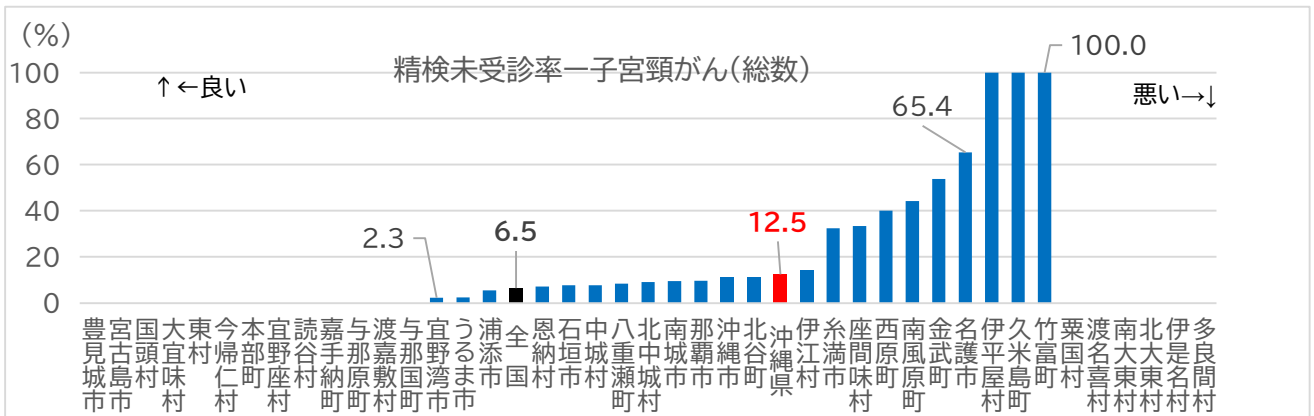
精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、基準値は 90%以上です。

沖縄県全体では62.7%となっており、基準値に達していません。



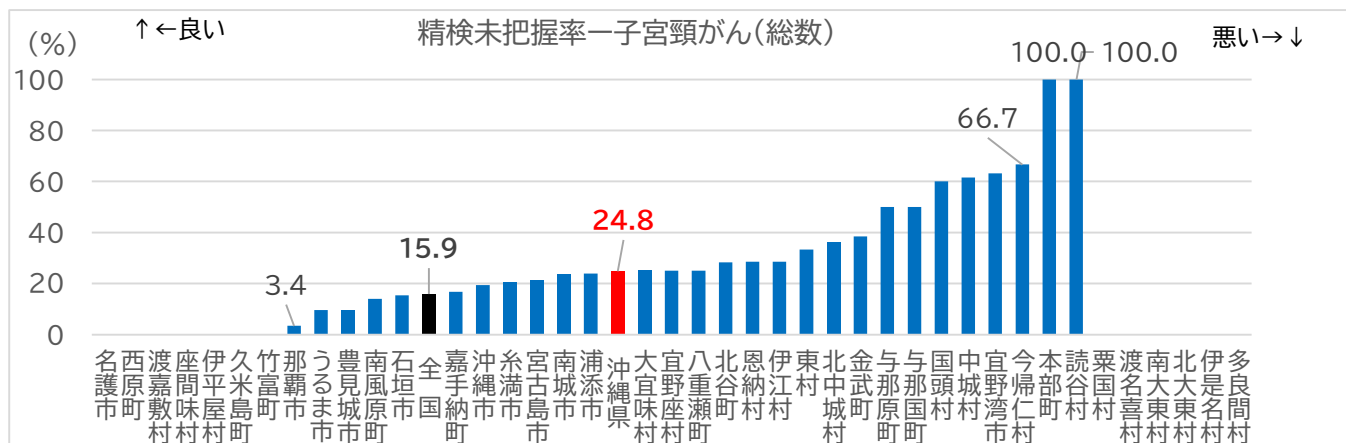
(3) 精検未受診率(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) 未受診者数／要精検者数×100

当県全体の未受診率は、12.5%と全国平均を下回っております。



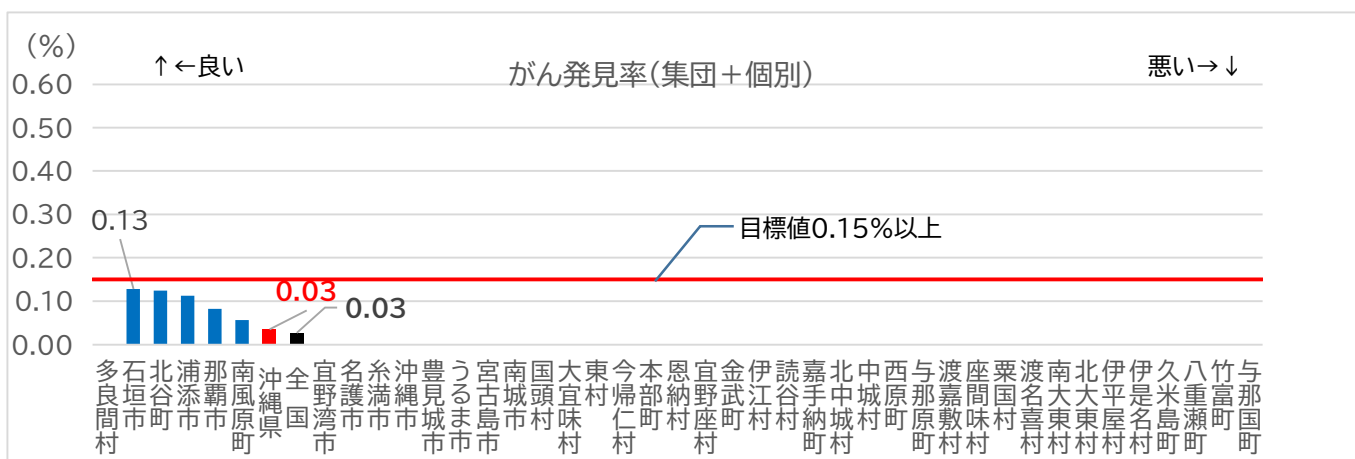
(4) 精検未把握率(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) 未把握者数／要精検者数×100

未把握率が当県全体で24.8%と全国平均を大幅に下回っており、課題となっております。



(5) がん発見率(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) がんであった者／受診者数×100

がん発見率は、受診された方のうちがんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。基準値は 0.15%以上とされていますが、20 歳代～30 歳代前半の若年層の受診割合が高い地区や、受診者が固定してしまっている地区では低くなる場合があります。沖縄県全体では 0.03% になっており、基準値に達していません。



(6) 陽性反応適中度(令和3年度住民検診受診者 20～74 歳) がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際にがんがあった方の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましいです。基準値 5.9%以上とされていますが、若年層は CIN の罹患は高いのですが、浸潤がんの罹患が少ないので、若年層の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

沖縄県全体では1.37%となっており、基準値に達していません。

